

第 25 回 コムズフェスティバル 市民企画分科会 実施報告

グループ名	特定非営利活動法人 ワークライフ・コラボ
開催日時	2024年2月3日(土) 10時~12時
テーマ	学生と考える！「まつやまを働きやすく暮らしやすい”まち”にするには」
形式	プレゼンテーション&座談会
講師等	WLB 認定スピーカー5名(和泉智子氏、伊藤悟志氏、豊川真実氏、松野祐介氏、森岡岳夢氏)
参加人数	女性 9名 男性 10名 合計 19名

〈内容〉

- ①「人口減少社会の現状と課題」を伝え、課題を共有する。
- ②「成果発表」学生が学びを発表し、WLB 認定スピーカーからフィードバックをもらう。
- ③「松山市を働きやすく暮らしやすい”まち”にするには」をテーマに、学生の提言について参加者と意見交換、また感想の共有を行い多世代で交流をはかる。

〈成果発表テーマ〉

- テーマ①男性育休インタビュー
- テーマ②共働きお宅訪問インターンシップ
- テーマ③ジェンダー座談会
- テーマ④就活座談会

〈ゲスト：WLB 認定スピーカー〉

- ・愛媛トヨタ自動車 和泉智子さん
- ・あわしま堂 松野祐介さん
- ・井関松山製造所 伊藤悟志さん
- ・日本エイジェント 豊川真実さん
- ・愛媛新聞社 森岡岳夢さん

〈参加者の感想〉

- ・学生、一般参加の方々、認定スピーカーなど、多様な人との交流の機会になり、よい刺激をもらった。
- ・悩んでいる自分を肯定してもらえ、少し活力を得た。大きなこと(人口減少などの社会問題)が重要であることは確かだが、一人一人が今日をどう生きるのか？自分の半径 5m はどうなのか？ということの方がもっと大切な気がしている。自分の人生を社会に投げ出さず、みんなで悩み、苦しみ、楽しんでいきたいと思った。
- ・横のつながりを見つける、新しいことに挑戦することは大切ということに気づいた。「早く行きたければ1人で進め、遠くへ行きたければみんなで進め」。改めて人口減少社会への対策が必要だと感じた。
- ・いろいろな人と、少人数で話せるのがよかった。
- ・人前で発表(プレゼン)する機会は初めてだった。資料作りから発表まで、総じて楽しかった

- ・発表について、WLB 認定スピーカーからコメントをもらったり、褒めてもらえてうれしかった
- ・参加者同士で話したり、社会のことを知ることで意識の変化があった

〈まとめ〉

○分科会を開催して見えてきたこと

1. 学生、一般参加者、認定スピーカーなど、多様な人との交流が刺激になったという意見が多い。多様な人が集える場、テーマを持った情報共有、議論の場が求められている。
2. 就職への不安を抱えている人が多い。会社に就職しても、違うと思ったら辞める選択肢があることを認識することが重要。柔軟なキャリア観の育成が必要。
3. 社会問題（ジェンダー問題など）への関心と、個人レベルでの行動の重要性とのバランスに悩む人が多い。自分の半径 5m（日常生活）を充実させることの大切さを認識することが重要。社会問題と個人の生活を繋ぐような学びの場が求められている。
4. 年代ごとのライフイベントに合わせた、具体的なアドバイスや情報提供が求められている。